

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 27 年度 第 6 回 佐渡市地方創生総合戦略策定・推進本部
開催日時	平成 28 年 1 月 7 日 (木) 14 時 20 分 開会 14 時 45 分 閉会
場所	市役所 3 階 大会議室
議題	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 本部長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1)佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p> <p>(2)「地方創生加速化交付金」について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>
会議の公開・非公開	非公開
出席者	市長、副市長、政策監、教育長、議会事務局長、会計課長、総務課長、行政改革課長、危機管理主幹、財務課長、世界遺産推進課長、地域振興課長、交通政策課長、市民生活課長補佐、税務課長補佐、環境対策課長、社会福祉課長、高齢福祉課長、両津病院管理部長、農林水産課長、観光振興課長、産業振興課企業支援係長、上下水道課長、監査委員事務局長、農業員会事務局長、学校教育課長、社会教育課長、消防長、事務局（総合政策課：課長、課長補佐、人口減少対策室長、人口減少対策係長、人口減少対策係主任）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発 言 者	議題・発言・結果等
市長	<p>1 開会</p> <p>2 本部長あいさつ</p> <p>今年は、地方創生元年と位置付けていきたい。昨年 7 月末に佐渡版の総合戦略が出来上がった。しかし、出来上がったただけであって、これから魂を入れて実践していくのは、今年である。したがって、地方創生元年である。</p> <p>もう一つは、数値目標というものがある。これを検証しながら、問題があるのであればこれを修正していくということが、これから必要になる。</p> <p>なんとしても佐渡が離島のモデルとなるように取り組んでいきたいので、協力をお願いします。</p> <p>また、地方創生の加速化交付金の日程等の説明があるが、せっかく国が交付金というものを組んでくれるということなので、これを大いに活用してもらいたい。</p> <p>効果の上がるものをみんなで作り上げてもらいたい。</p>
副市長	<p>3 議事</p> <p>議事に移ります。進捗状況の説明をお願いします。</p>
総合政策課長	<p>それでは、総合戦略の進捗状況について、時間の都合もありますので、各基本目標の代表的な取組に絞って説明いたします。</p> <p>資料No.1 をご覧ください。事前に総合政策課で事業の指定をいたしました。網掛けの箇所が対象となります。</p> <p>それでは部会ごとに説明をお願いします。</p>
農林水産課長	<p>1 ページ目でございます。「島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。」ということで、ア. 高品質な佐渡米の生産推進による農業経営の安定化のところですか。上から 2 つ目、佐渡米の品質向上や高付加価値化に関する支援です。佐渡米の品質向上の支援に取り組んでいるところでございます。</p> <p>具体的な取り組みとしては、佐渡米未来プロジェクト「品質向上 90」の取組強化、色彩選別機の導入補助ということになっておりまして、指標としては、主食用米コシヒカリの 1 等米比率 90%以上ということ</p>

	<p>になっております。11 月末現在でございますが、88.4%ということになっております。</p> <p>続きまして、3 ページでございます。取組で申し上げますと、オ. 起業・第二創業や企業誘致等による若者の雇用促進でございます。取組の内容としては、起業・第二創業及び企業誘致の促進ということでございます。具体的な取り組みとしては、起業及び起業の第二創業を支援するため、設備費や機械器具費、賃借料などの支援を行うということであります。</p> <p>指標は、当該事業を活用して新規起業及び第二創業した数ということで、平成 27 年度目標は 5 件。12 月末現在の実績では、事業採択の決定が 2 件、2 次応募が 1 件ということでございます。</p> <p>続きまして、4 ページでございます。取り組みとしては、オ. 6 次産業化を中心とした高付加価値化・販売体制の構築でございます。</p> <p>取組の内容としては、農商工連携と 6 次産業化の促進でございます。具体的な取り組みとしては地域資源を活用した特色ある新たな製品づくり等を後押しすることにより、更なる産業活性化を図るということでございます。指標としては、補助事業を活用して新製品の開発等を行う企業・団体数でございます。平成 27 年度目標は 16 件、12 月末現在の実績は 2 件ということになっております。以上です。</p>
総合政策課長	<p>続きまして、観光の方。9 ページからお願いします。</p>
観光振興課長	<p>通年観光を推進するため、ふるさと旅行推進事業の第 2 弾で、12 月から 2 月まで佐渡冬紀行という旅行商品を造成しております。</p> <p>今現在、個人が 942 人ありまして、これはすでに完売しております。団体が 1,000 人余りあるのですが、これも一昨日の時点で 610 人ということで、この後残り 400 人位が完売するものと思っております。</p> <p>また、これについては、アンケートも行っておりまして、次年度の冬体制について、アンケートを基に検討していきたいと思っております。以上です。</p>
交通政策課長	<p>続きまして、9 ページの一番下です。佐渡航路乗用車航送運賃割引支援事業についてですが、指標にありますとおり、今年度は総輸送人員 160 万人の目標を設定いたしました。前年が 158 万人でしたので増を見込んだのですが、12 月末実績としましては、155.7 万人ということで、対前年比 2 万 3 千人の減となりました。</p> <p>この中で、航路全体の人員は減っておりますが、乗用車の航送台数については、地方創生先行型の交付金を活用して運賃の割引事業を実</p>

	<p>施しました。平成 26 年度が約 10 万台ということでしたので、13 万台と目標を高く設定しましたが、前年よりは増えています、微増ということになりました。4 月から 11 月まで 85,476 台、これは先行型の交付金を活用した期間に限定をしますとこの台数になります。</p> <p>対前年に比ばまして 2,914 台の増、率にしまして 3.5% の増加をしております。航路全体が減っている中で、乗用車については一定の成果が上がったと見ております。また、併せまして、車一台あたりに乗ってくる人員についても、これまで平均 2.5 人程度でありましたが、今回の期間中については、2.65 人ということで、一台あたり乗車の人数についても増えているという状況であります。</p> <p>これを踏まえて、12 月から 2 月まで上乗せ交付金を活用して、冬期間も事業を継続して行っておりますが、12 月の実績でいきますと、対前年比 5.2% 増ということで、12 月についても順調に推移しているというところであります。以上です。</p>
総合政策課長	<p>それでは、第 3 部会の方、14 ページお願いします。</p>
社会福祉課長	<p>14 ページについては、学校教育課に説明をお願いします。私の方は、15 ページのエ. 移住・定住の促進について説明をさせていただきます。</p> <p>その中で「移住コンシェルジュ制度」等による誘導策の展開ということですが、移住を検討している方に対し、受入支援活動を実施するというところでございます。</p> <p>実績でございますが、12 月末現在で、移住コンシェルジュ登録者数は 10 人、定住サポート活動については 7 件ということです。内訳としては、移住相談及び島内の案内については、5 件。空き家案内及び相談については、2 件ということでございます。以上です。</p>
学校教育課長	<p>14 ページ、学校教育課でキャリア教育の推進の部分です。小学校では、来年 6 年生が使用します教材、佐渡版のみらいずノート、サブタイトルが「自分と佐渡の未来を考える」という教材を作成中で、来月印刷にかかる予定です、4 月以降、総合学習の場で 6 年生が使用します。</p> <p>中学校の方でございますが、今年、南佐渡中学校をキャリア教育の指定校として、キャリア教育を強化しておりますけれども、課題解決型職場体験ということで、昨年 10 月 1 日に職場体験を実施し、佐渡の課題解決のプランの発表会を 10 月 22 日に行いました。市内 10 社の企業に訪問しまして、企業の特徴的な部分をそれぞれ子どもたちに考えてもらって、何か問題点はないか、どの様なことをすれば企業のプラスになるのかというようなことを話し合いました。また、中学生の職</p>

<p>地域振興課長</p>	<p>場体験でございますけれども、昨年と比較しまして、確実に増加をしている状況でございます。以上です。</p> <p>特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保するという基本目標です。ア.地域の拠点作りと活力の再生、その中の地域自主組織等の地域づくり活動への支援でございます。これについては、支所・サービスセンター予算で元気な地域づくり支援事業がありまして、地域課題の解決や地域づくり活動等を支援し、地域の自主的な活動機運の醸成と地域活力の維持・向上を図ることを目的に実施しております。12月末現在の実績でございますが、各地区における地域づくり活動支援への補助交付件数が84件、道路補修等の緊急対応が58件というようになっております。以上でございます。</p>
<p>総合政策課長</p>	<p>一つだけお願いします。目標達成に向け、進捗が遅れている事業については、各部会を積極的に活用するなど、対応を図っていただきたいと思えます。</p> <p>部会の開催については、総合政策課の各担当にご連絡ください。開催の調整をいたします。</p> <p>なお、今後の進捗管理についてであります。本年度の実績を4月中に固めていただき、本部会議及び有識者会議で検証を行いたいと考えております。</p>
<p>副市長</p>	<p>部会はどういう位置づけなのか。</p> <p>部会は作るための部会か。計画を作るための部会なら不要ではないか。PDCAまで含むのか。</p>
<p>総合政策課長</p>	<p>すべて含んでおります。</p>
<p>副市長</p>	<p>そうした場合、定期的にやらないのか。なにか問題が起きたときにやるのか。部会を開催しないで、本部会議を開催しているではないか。</p>
<p>総合政策課長</p>	<p>今回は中間報告なので部会を開催していない。PDCAの部分は、新年度に入ってから開催を考えている。</p>
<p>副市長</p>	<p>次につなげるためには、現在のメンバーで部会をやらなければならない。新年度になると、また一から説明しなければならない。責任をもって次の職員に引き継ぐように。</p>

総合政策課長	<p>今年度中に部会を開催することで調整する。</p> <p>次に、資料の NO.2 地方創生加速化交付金について説明いたします。</p> <p>先般、グループウェアの回覧でもお示ししましたが、地方創生加速化交付金が国の 27 年度補正予算に計上されました。予算額は 1,000 億円、補助率は 10/10 であります。</p> <p>対象事業は、地域のしごと創生に重点を置きつつ、一億総活躍社会実現に向けた緊急対策にも資する効果の発現が高い事業で、具体例として、「IT を活用した中堅・中小企業の生産性向上や新事業促進」、「農林水産品の輸出拡大」、「観光振興（DMO）」などが示されています。</p> <p>また、市区町村当たりの交付決定額の上限は、4～8 千万円、申請事業数としては 2 事業までが目安となっております。</p> <p>続きまして、交付決定までのスケジュールであります。資料 No.3 をご覧ください。</p> <p>国への実施計画の提出期限が 2 月中旬、交付決定の内示が 3 月中旬、交付決定が 3 月下旬となっておりますので、このスケジュールに沿って進めてまいります。</p> <p>昨年末、各課に事業照会をし、いくつかの課からご提案いただいたところではありますが、申請事業についてはこれから調整をいたします。</p> <p>議会が閉会されている場合には、臨時議会で対応したいと思っております。</p>
世界遺産推進課長	<p>新潟県と佐渡市で広域連携事業を世界遺産推進課の方で考えている。すでに情報は提供してありますが、広域連携事業の部分というのは本部会議なり部会で議論する案件なのか。</p>
総合政策課長	<p>ジオパークの方も広域連携事業の提案をしていただいておりますが、この後の調整の中で打合せをさせていただきたいと思っております。</p>
副市長	<p>その他ありますか。</p>
総合政策課長	<p>2 点ほど。</p> <p>1 点目ではありますが、今日 15 日（金）に地方創生の外部有識者会議を開催いたしますので、各部会の課長の出席をお願いします。</p> <p>会議の内容としましては、①佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について、②地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業について、③意見交換、④地方創生加速化交付金について を考えております。</p>

副市長	<p>2点目であります。RESASの活用、内閣府の方に佐渡市にお越しいただき、意見交換等を行う件について。</p> <p>日程につきましては、今月の25日（月）～26日（火）の2日間で、26日に意見交換を予定しております。</p> <p>出席いただく課には、担当から連絡をいたしました。具体的なスケジュール等、追って連絡させていただきます。以上です。</p> <p>それでは、よろしく申し上げます。</p> <p>4 閉会</p>
-----	---